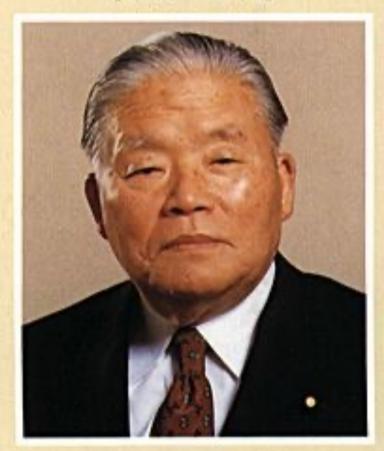
大平正芳

《第68·69代》





明治43年3月12日生 昭和55年6月12日死去(70歳) 出生地:香川

総理大臣	内閣発足日	与党
鳩山一郎	1955.11.22	自民党
石橋湛山	1956.12.23	自民党
岸信介	1957.7.10	自民党
池田勇人	1960.7.19	自民党
佐藤栄作	1965.6.3	自民党
田中角栄	1972.7.7	自民党
三木武夫	1974.12.9	自民党
福田赳夫	1976.12.24	自民党
大平正芳	1978.12.7	自民党
鈴木善幸	1980.7.17	自民党
中曽根康弘	1982.11.11	自民党(+日本自由クラブ)
竹下登	1987.10.31	自民党
		77 2/2000

. list year ku kun mag nocand rank party status wl previous votes voteshare if name == "OHIRA, MASAYOSHI",

year	ku	kun	mag	nocand	rank	party	status	wl	previous	votes	votesh~e
1952	kagawa	2	3	9	2	jiyu-a	challenger	win	1	43093	18.6
1953	kagawa	2	3	9	3	jiyu-y	incumbent	win	2	39464	17.7
1955	kagawa	2	3	6	3	jiyu-b	incumbent	win	3	48851	22.2
1958	kagawa	2	3	5	1	LDP	incumbent	win	4	56817	24.1
1960	kagawa	2	3	8	1	LDP	incumbent	win	5	64077	27.1
1963	kagawa	2	3	6	2	LDP	incumbent	win	6	64066	27.7
1967	kagawa	2	3	5	1	LDP	incumbent	win	7	75076	33.3
1969	kagawa	2	3	5	1	LDP	incumbent	win	8	72343	31.1
1972	kagawa	2	3	5	1	LDP	incumbent	win	9	89942	36.6
1976	kagawa	2	3	4	1	LDP	incumbent	win	10	98412	43.3
1979	kagawa	2	3	5	1	LDP	incumbent	win	11	126890	52.1

ビデオ 1978 自民党総裁選・大平内閣

大平正芳略歴

- 1910年 香川県豊浜町生まれ
- 1936年 東京商科大学(現在の一橋大学)卒業 大蔵省に入省
- 1952年 香川二区から衆院選に初当選
- 1960年 官房長官(池田内閣)
- 1962年 外務大臣(池田内閣)
- 1967年 自民党政調会長
- 1968年 通産大臣(佐藤内閣)
- 1971年 宏池会会長
- 1972年 外務大臣(田中内閣)
- 1974年 大蔵大臣(田中・三木内閣)
- 1978年 首相
- 1980年 死去 70歳

ビデオ 1978 王選手800号 1978 カーター米大統領来日 1978 鄧小平来日 大平首相の在任期間 (1978.12-1980.6)

国際的・・・スーパーパワーとしての米国に翳り

国内的・・・経済成長の限界論が盛ん

自民党内・・・派閥政治の弊害が噴出

大平首相の基本的な姿勢

米国を元気づける → 新たな世界秩序を回復する

①ソ連のアフガニスタン武力侵攻を批判

米国に同調して、対ソ輸出規制の強化

- ②モスクワ五輪への選手派遣を自粛
- ③イランの米大使館人質事件救出作戦
 - ◆「あらゆる支援を惜しまない」と表明

米国に対して「同盟」(alliance) という表現を始めて使った

「日本の四つの島を米国の不沈空母のようにお使いください」 → カーター大統領

大平首相・・・米国を encourage する言動

その理由・・・吉田茂 ~ 池田勇人の保守本流意 識 民主主義の先生である「強いアメリカの復権」を手助けしよう

大平が腐心したこと・・・

財政再建と一般消費税の導入 大平の認識の甘さ

「民度の高い日本国民は増税を理解してくれるはずだ」

一般消費税 ← 自民党内からも反対論

1979年総選挙では自民党が敗北

ビデオ 1978 総選挙・40日間抗争

「四十日抗争」

総選挙での大平首相の責任論 福田前首相 → 大平首相に辞任を迫る

「私に辞めろというのは死ねということか?」 大平の反論

衆院本会議での首相指名選挙

大平・福田が自民党から名乗りを上げる

決戦投票で大平が指名される

ビデオ 1980 ダブル選挙・大平死去

さらなる自民党内抗争

1980年5月の通常国会

野党が大平内閣不信任案を提 出 福田派(自民党主流派)が不信任案に同調

→ 衆参同日選挙

大平首相急死

自民党大勝

大平首相・・・自民党の派閥抗争による怨念政治の犠牲 者

福田の「派閥解消論」

大平の「派閥効用論」

大平首相は田中角栄元首相とは盟友関係

→ 福田派などから反発を受けた理由

大平政治の特徴

学者や知識人を重用した9つの研究会

「田園都市構想」「家庭基盤充実」など

ブレーン政治・・・中曽根首相や小渕首相へと受け継がれた

大平首相の田中角栄への評価

あれはせっかちでいかん。イギリスには優れた政治家がいて、この局面は自分の出番ではないと判断すれば、しばしば路傍に避け、他人様がするのを見送るものだ。それがいいのだ。

比して、田中角栄にはそれがない。いつなんどきも「俺が」 「俺が」と先に行こうとするので、そこから様々な誤差が生じ て失敗もする

出典:岩見隆夫「日本政治の『せっかち』をしかる」 『中央公論』2014.2, p.135.

田園都市構想

田中角栄の「日本列島改造論」に違和感を感じた大平

大平の描いた日本の姿

20万都市をつくる

そこには雇用がある

自宅から職場までの通勤時間は20分くらい

田んぼ、虫の声、風鈴の音を聞きながら眠りに就く

ビデオ 1980 漫才ブーム

鈴木内閣(1980-82)

鈴木善幸 (第70代)





明治44年1月11日生 出生地:岩手

. list year ku kun mag nocand rank party status wl previous votes voteshare if name == "SUZUKI, ZENKO", nook

year	ku	kun	mag	nocand	rank	party	status	wl	previous	votes	votesh~e
1947	iwate	1	4	12	4	shakai-a	challenger	win	1	28699	13.2
1949	iwate	1	4	10	3	m-jiyu	incumbent	win	2	38751	16.5
1952	iwate	1	4	8	3	jiyu-a	incumbent	win	3	42269	15.1
1953	iwate	1	4	9	2	jiyu-y	incumbent	win	4	45863	15.6
1955	iwate	1	4	7	4	jiyu-b	incumbent	win	5	48757	15.6
1958	iwate	1	4	8	2	LDP	incumbent	win	6	55896	17.2
1960	iwate	1	4	7	2	LDP	incumbent	win	7	63230	18.9
1963	iwate	1	4	7	3	LDP	incumbent	win	8	60372	17.4
1967	iwate	1	4	8	1	LDP	incumbent	win	9	80873	21.6
1969	iwate	1	4	7	1	LDP	incumbent	win	10	93215	28.4
1972	iwate	1	4	7	1	LDP	incumbent	win	11	112780	30
1976	iwate	1	4	8	1	LDP	incumbent	win	12	73115	17.6
1979	iwate	1	4	7	1	LDP	incumbent	win	13	98925	25.2
1980	iwate	1	4	7	1	LDP	incumbent	win	14	111535	27.3
1983	iwate	1	4	7	1	LDP	incumbent	win	15	100315	24.8
1986	iwate	1	4	6	2	LDP	incumbent	win	16	92452	21.8

鈴木善幸略歴

1911年 岩手県下閉郡山田町生まれ

1936年 農林省水産講習所(現東京水産大学)卒業

大日本水産会に就職

1947年 社会党から衆院選に初当選

1948年 民主自由党に入党

1960年 郵政大臣(池田内閣)

1964年 内閣官房長官(池田内閣)

1965年 厚生大臣(佐藤内閣)

1968年 自民党総務会長(以後、通算10期務める)

1980年 首相

1982年 首相 退任

ビデオ 1980鈴木内閣

鈴木首相の在任期間 (1980.7-1982.11)

Zenko Who? --- 1980

Zenko Why? --- 1982

自民党総務会長を10期務めた

→ 党内調整が得意

むしろ衆院議長が適任

大平首相の急逝 (1980.6)

→総裁候補 福田、中曽根、河本、宮沢ら

党執行部が総裁選びを調整

しかし、あっけなく鈴木総裁が決まる

その理由→ 自民党内に派閥抗争への厭戦気分

「和の政治」

「全員野球」(鈴木首相)

鈴木内閣のテーマ:「行政改革」

第二次臨時行政調査会を発足

会長: 土光敏夫(経団連名誉会長)

ビデオ 1981行政改革 土光一日臨調

「増税なき財政再建」

「赤字国債からの脱却」

その時代背景

三木、福田、大平内閣における借金財政のつけ

第二次臨調の基本答申 (1982.7)の主眼

「親方日の丸」意識を批判

→ 国鉄の民営化

外交の焦点・・・安全保障面での日米協力関係の構築 鈴木首相訪米 (1981)

外務省

「同盟」(alliance)を鈴木・レーガン共同声明に盛り込む計画 「同盟」の解釈をめぐり対立

「軍事的意味合いを持つものではない」(鈴木首相)

「軍事的関係を含まないなんてナンセンス」(高島外務次官)

→ 伊藤正義外務大臣が辞任

ビデオ 1980ミッドウェーと核疑惑

教科書検定をめぐる中国と韓国の反発

日本の歴史教科書

「侵略」→「進出」に書き改められたと朝日新聞が誤報

→ 中国と韓国は「歴史の改ざんである」と反発

鈴木首相、訪中 (1982.9) → 鄧小平と会談

教科書問題の修復を図る

岸信介 元首相が鈴木批判

→ 鈴木首相、総裁選挙への出馬辞 退 自分が長期政権を目指しては怨念政治を増幅させる(鈴木首相)

→ 出馬辞退

政権欲が目立つ政界では珍しい無欲さ、と評 価